

教育委員会の点検・評価報告書

(平成28年4月～平成29年3月対象)

平成29年9月

館山市教育委員会

点検・評価報告書

1 点検・評価の期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

2 点検・評価の方法

(1) 平成28年度の事務事業について、「館山市教育基本計画（平成24年度～平成28年度）」と「館山市前期基本計画（平成28年度～平成32年度）」に共通する計画事業の点検・評価を行いました。

(2) 平成29年度第1回「館山市総合計画審議会」において、意見を聴取し、点検・評価の客観性の確保に努めました。

3 点検・評価の結果

別紙のとおり

4 点検・評価の一般への公開

館山市ホームページにて公開

I 学校教育の充実

第1節 幼児教育の充実と子育て環境の充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、保育園、こども園、幼稚園、小学校、地域との連携・協力を図り、幼児期の一貫した教育を推進するとともに、教具や遊具などの施設整備を計画的に進めます。 ・就園前の幼児・保護者との交流機会の提供や預かり保育を積極的に行うとともに、子育てに必要な情報提供に努め、幼稚園の「子育て支援センター」としての機能の充実を図ります。 ・世帯の状況に応じて保育料等経済的負担の軽減を図り、教育環境の充実を図るため、適切な補助を行います。 ・幼稚園の運営支援や、研究園の指定によるカリキュラムの調査研究など、幼児教育の充実に努めます。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
幼児教育の充実 【こども課】	<p>「子育て家庭を支援するまち」・「子どもを産み育てたくなるまち」の実現を目指し、交流保育や預かり保育、幼保一元化の推進、各種事業の継続などの幼児教育の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ちびっ子デー（未就園児の入園体験）の実施 ■幼稚園・保育園・こども園・小学校との連携 ■子育て支援センターとしての機能充実 ■預かり保育の実施 ■研究園の指定 <ul style="list-style-type: none"> 平成 24・25 年度 北条幼稚園 平成 26・27 年度 那古幼稚園 館野幼稚園 平成 28・29 年度 館山幼稚園 ■幼保一元化事業：船形こども園、九重こども園 (平成 25 年度開園)
実施状況	<p>【こども課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央保育園と北条幼稚園の「こども園化」に向けた、段階的な取組として、北条幼稚園において「有料の預かり保育」を実施するため、条例整備等を行いました。 ・教材等の計画的な整備や遊具の更新を行いました。 ・私立幼稚園就園奨励費補助金及び教材等の助成を行いました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<ul style="list-style-type: none"> ○教材等の計画的な整備や遊具の更新を行ったため、適正な管理ができました。 ○新制度に移行しない私立幼稚園に通う保護者に対し、就園奨励費補助金等を助成することにより、経済的な支援を図りました。 ◆少子化や幼稚園への就園率の減少により、園児数が少ない幼稚園では、集団での教育・保育の提供が困難となっています。 ◆支援が必要な園児が増えてきているため、支援が必要な園児に対応する専門職員や施設整備が必要となっています。

第2節 教育内容の充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視した教育を推進します。 ・平成23年度から完全実施された小学校における外国語活動の充実に向け、配置するALTを最大限活用し、外国語教育、国際理解教育をさらに推進します。 ・現代的課題に対応すべく、マイスクールボランティア等、地域の教育力を積極的に活用した教育を推進します。 ・健康・体力づくりを推進します。 ・一人ひとりの特性やライフステージ、教育的ニーズに対応した学習支援のための支援員を配置するなど特別支援教育体制を整備します。 ・幼稚園・保育園の適正な規模や運営形態について検討します。 ・学校給食センターの栄養士による、食に関する指導事業を実施します。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
「生きる力」を育成する教育の推進 【教育総務課】	<p>「生きる力」の育成を目指し、「確かな学力」の育成のため、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、授業時数の確保、学習意欲の向上や学習習慣の確立、また、「豊かな心」「健やかな体」の育成のため、読書活動・道徳教育の充実、体験活動の充実、体育・食育の充実等を推進し、特色ある教育課程の編成を進めます。</p> <p>■学力向上プロジェクト委員会を通して、各校の具体的な取組を推進 ■道徳教育充実のための市独自の教材作成 ■読み聞かせ・ブックトーク、学習支援及び資料の団体貸出事業</p>
実施状況	<p>【教育総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一中、二中、三中学区に学力向上推進コーディネーターを配置しました。 ・いじめ防止対策推進条例を念頭においた教育活動を推進するとともに、児童生徒に対し心理テストを実施しました。 ・電子黒板の活用について研究・研修を実施しました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上推進コーディネーターの活用により、学力面だけでなく、生徒指導面においても小中学校の連携が深まりました。 ○電子黒板を利用した授業が増えました。 ◆学校教育における総合的な課題として、教職員の負担軽減のための方策が挙げられます。

外国語教育・国際理解教育の推進 【教育総務課】	<p>国際化社会に対応した教育の一環として、小学校の外国語活動及び中学校の外国語授業において、語学指導を行う外国語指導講師（ALT）を最大限活用し、外国語教育及び国際理解教育の充実を図り、国際感覚豊かな児童・生徒の育成に取り組みます。特に、外国語教育については、館山市小学校英語活動年間計画（年間35時間）に基づいた取り組みをすることで、外国語教育の充実を図ります。</p> <p>■民間委託による外国語（英語）指導講師配置事業 ■指導主事による指導及び助言</p>
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にALTを配置しました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<ul style="list-style-type: none"> ○校外活動等の場で、外国人とコミュニケーションを図ることができました。 ◆小学校での外国語教育が教科化されることに伴い、教員の授業力等向上が課題となっています。

情報教育の推進 【教育総務課】	市内の小・中学校におけるコンピュータ機器の整備、学校へのネットワーク構築が完了し、ICT教育環境の整備が図られる中、効率的で適切な情報教育の推進に努めます。 ■パソコン機器等の更新 ■時代の変化に対応したソフトウェアの整備 ■情報教育推進のための教職員研修の実施
実施状況	・教育問題研究委員会において、ICT教育に関する研究を行いました。 ・ICTを活用し、効果的な指導・学習を行いました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	【教育総務課】 ○学校での電子黒板の利活用が拡大しています。 ◆ICTに関する教員の得手不得手により、ICT機器の利活用に差があります。 ○ICTを効果的に活用した、わかりやすく理解の深まる授業を実践しました。 ○児童生徒の情報活用能力の育成を図りました。 ◆ICT環境整備については、機器の整備に多額の費用がかかるため、厳しい財政状況を踏まえると、国の目標（PC コンピュータ教室40台・各クラス1台・移動式40台、電子黒板各クラス1台）の達成は困難です。

情操教育の推進 【教育総務課】	プロなどによる優れた芸術（音楽）を身近に鑑賞する機会を提供し、児童への情操の涵養を図り、芸術活動への参加の機運を醸成します。 ■館山市音楽鑑賞教室の実施（隔年事業・小学3・4年生対象）
実施状況	・館山市文化祭「子ども音楽会」を開催しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○子ども達が積極的に参加しています。 ◆地域性により、多様な芸術、文化に触れる機会が多くありません。

福祉教育・環境教育・キャリア教育・食育の推進 【教育総務課・学校給食センター】	「ふれあい体験活動推進事業」を実施し、福祉・環境・ボランティア・社会体験活動を通じて、変化の激しい社会を心豊かに、たくましく生き抜いていくための基盤となる力を身につけた児童生徒の育成に努めます。また、望ましい食習慣や栄養に関する正しい知識を身につけさせるため、学校給食センターの栄養士が各学校に出向き、食に関する指導事業を実施します。 ■中学生社会体験学習「チャレンジ感動 in 館山」の実施 ■小学生社会体験学習「ゆめ・仕事ぴったり体験」の実施 ■食に関する指導事業
実施状況	・全小中学校で児童生徒の職場体験を実施。小学校においては「ゆめ・仕事ぴったり体験」として各校独自実施。中学校においては「チャレンジ感動 in 館山」として2年生が実施しました。 ・幼児とふれあう機会を設定し、中学生が福祉の心を育てる事業を実施しました。 【学校給食センター】 ・各学校において食に関する授業を実施し、食事の重要性や食事のマナーを守ることと、楽しく食事をしようとする意欲を持たせる。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○教科以外での様々な体験活動を通じて、児童生徒自身が将来の自分を考えることができます。 ◆職場体験の受入事業所等が減少しています。

	<p>【学校給食センター】</p> <p>○心身の成長や健康を保つために必要な栄養や、正しい食事のとり方を指導することができました。</p> <p>○食事の重要性や、食事の喜びや楽しさを理解することができました。</p> <p>◆栄養教諭が各学校に赴き食育授業を実施しましたが、全ての学校においての実施はできませんでした。計画的な指導体制を整えることが必要です。</p>
--	---

<p>特別支援教育体制の推進</p> <p>【教育総務課】</p>	<p>個別の指導計画や支援計画の作成，小・中学校に特別支援教育学習支援員を配置するなど，障害のある子どもが，持てる能力を最大限発揮できるよう，乳幼児期から中学校卒業まで一貫した支援を行い，社会的自立・職業的自立を図ります。また，教員の専門性・資質の向上や支援体制の充実を図り，一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習支援を行うよう努めます。</p> <p>■学習支援員の適切な配置</p> <p>■保育園・幼稚園段階からの支援計画の作成</p> <p>■専門家チームによる巡回相談の充実</p>
実施状況	・特別支援教育学習支援員を増員しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	◆特別な支援を必要とする児童生徒は，今後も増加すると考えられます。

<p>生活習慣病予防検診事業</p> <p>【教育総務課】</p>	<p>近年増加傾向にある生活習慣病を小児期から予防し，地域の未来を担う子どもたちの健康管理を適正に行うことが求められています。小・中学校で各学年から一つの学年を選び全児童生徒を対象に採血，血圧測定を行い，保護者に対して検査結果により保健師，栄養士から生活習慣病の食育を含めた予防対策について指導をすることで，心身共に健康な児童生徒の育成に努めます。</p> <p>■生活習慣病予防検診</p> <p>■検診後の指導</p>
実施状況	<p>・小学校5年生，中学校2年生を対象に検診を実施し，有所見者に対して個別指導を行いました。</p> <p>・千葉県における小児期肥満の研究を行っている千葉県立保健医療大学からの依頼で，匿名化したアンケートデータ，検査データを提供しました。また，専門的な観点から指導を行っていただきました。</p>
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○有所見者に対して個別指導を行うことにより，生活習慣改善に向けた具体的な取り組みを伝えることができました。</p> <p>○大学と連携し，専門的な観点から指導を行うことができました。</p>

第3節 教育相談の充実

<p>取り組み方向</p>	<p>・子育てへの悩みや児童生徒の悩みに対する教育相談体制の充実を図ります。</p> <p>・スクールカウンセラー派遣事業等の活用により，教職員の指導との連携を図ります。</p>
---------------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
教育相談体制の充実	家庭・地域及び各関係機関との緊密な連携により，家庭の教育力を高める学習機会の充実を図ります。また，児童生徒の悩みなどに対する教育

【教育総務課】	<p>相談に関する研修や研究を進めるとともに、スクールカウンセラーの配置など教育相談体制の充実を図ることで、保護者・児童生徒等の様々な悩みに対する相談体制を確立し、適切な支援と援助を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スクールカウンセラー派遣事業 ■長欠対策主任研修の実施 ■中学校区生徒指導連絡会による小中学校間の生徒理解の滑らかな接続 ■各関係機関との連携
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー配置校を中心に、小中学校の教育相談体制の充実を図りました。 ・スクールカウンセラーに適応指導委員会や生徒支援委員会に参加してもらい、児童生徒への対応について助言を頂きました。 ・スクールカウンセラーを家庭教育学級の講師として招聘し、ストレスへの向き合い方について研修しました。 ・教育相談日を年3回設け、子どもの悩みなどのサインを見逃さないよう努めました。 ・長欠対策主任研修会を実施し、長欠児童生徒の現状を把握し、その解消に努めました。 ・中学校区生徒指導連絡会議を実施し、小中連携した課題について共有することができました。 ・児童生徒を対象として、心理テスト(hyper-QU)を実施しました。
成 果 と 課 題 〔○成果◆課題〕	<p>○例年と比較し、生徒指導上の問題が減少しました。</p> <p>◆児童生徒や保護者が相談体制を必要に応じて利用しているかどうかの把握が困難です。</p>

第4節 教職員の資質向上

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性と確かな専門性に基づく実践的指導力を持つ教員の育成に努めます。 ・研究指定校や教育問題研究会事業等を中心として、質の高い授業づくりに努めます。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事 業 概 要 ■実施計画
教職員研修の充実 【教育総務課】	<p>効果的な教育実践が営まれるよう、また、特色ある学校づくりが推進されるよう社会や時代のニーズを踏まえた計画的な教職員の研修・研究体制の確立を図り、教職員の資質、力量の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■研究指定校（園）への支援 ■館山市教育問題研究委員会 ■人材育成の階層別研修（管理職研修・中堅研修・若手研修） ■人材育成や教育のニーズに合わせた教職員研修の充実 （教務主任研修・生徒指導主任研修・英語主任研修・パソコン研修） ■危機管理意識高揚のための校内研修
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・層別研修，分掌別研修を実施しました。
成 果 と 課 題 〔○成果◆課題〕	<p>○ICT教育に関する知識が広まりました。</p> <p>◆教職員の事務削減とのバランスが課題です。</p>

第5節 幼児・児童・生徒の安全確保

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理対応マニュアルの日常的な見直しと避難訓練の実施及び不審者に対する安全の確保を図ります。 ・地域ぐるみで幼児・児童生徒の安全確保を図ります。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
安全対策の充実 【教育総務課】	<p>危機管理対応マニュアルを適宜見直し、施設の安全・避難経路等の日常的な点検及び職員への意識啓発を行います。子どもが身の回りの危険箇所を把握し、自らの判断で行動できる指導をします。安全対策備品等の買い替えや不審者情報の提供、学校区毎の「見守り活動」を促進し、教育現場における安全性の確保に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■家庭・地域と連携をした避難訓練の推進（地震・津波・火災） ■各学校における防災教育の充実 ■安全マップを活用した指導の充実 ■安全対策備品の管理・買い替え
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理マニュアルの見直しを適宜行い、各校が危機管理への意識を高めています。 ・安全対策主任研修会を実施し、生活安全・交通安全・災害安全について自校の取組状況の評価を行いました。 ・安全マップを作成し、全校集会の場で発表しました。 ・通学路危険箇所について、関係機関と連携し、通学路危険箇所の改善について取り組んでいます。
成果と課題 【○成果◆課題】	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路の安全対策が進んでいます。 ◆通学路における児童生徒のための安全対策と、地域（高齢者等）の安全対策が相反する場合があります。

第6節 学社融合の推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を図り、地域の教育力を活かした学校体制づくりと開かれた学校づくりを推進します。 ・地域の教育的資源の活用を図ります。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
学校区におけるコミュニティの形成 【教育総務課】	<p>市民等で組織された学校評議員制度を活用し、地域の教育力を活かします。また、中学校子育てフォーラム、中学校家庭教育講演会を開催するとともに、地域の人材を活用し、地域に根ざした、開かれた学校づくりの確立を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校評議員の評価機能をいかした学校運営の充実 ■子育てにかかわるテーマや啓発を目的としたミニ集会の実施
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を実施し、その結果について、分析とともに保護者や地域に公開しています。 ・定期的に学校評議員会議を開催し、学校運営状況を説明するとともに学校改善について検討を重ねています。 ・学校行事等を保護者や地域に知らせるとともに、その参加を依頼し、学校の取組や様子を知らせています。 ・ホームページやブログを活用し、各校の情報を発信しています。 ・安心・安全サポーター（地域見守り隊）の方々との会議を開催し、子どもの安全を考えるとともに、地域で児童生徒の様子を観察するとともに

	に、子どもたちのよりよい成長について共に考えて頂いています。 ・各校で教育ミニ集会を開催し、次代を担う子どもたちのよりよい成長について地域の方々と考えています。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○学校ホームページやブログ等により、情報発信が図られました。 ◆地域人材の高齢化が課題です。
特色ある学校づくり 【教育総務課】	地域の自然・歴史・文化を活用し、郷土意識・愛着心を持った児童生徒の育成を図るとともに、地域の人材活用や学校間交流支援事業の実施、総合的な学習等の推進により、地域に根ざした開かれた学校づくりに努めます。 ■地域素材の教材化 ■地域人材の活用
実施状況	・歴史副読本「さとみ物語」を活用し、小学校6年・中学校2年で、4時間の授業を行うこととしました。 ・社会科・生活科・総合的な学習の時間において、地域についての学習を推進しました。 ・市役所・市立博物館の見学や出前講座を利用し、地域についての学習を推進することができました。 ・地域の地場産業を体験することにより、自分たちの住んでいる地域の特徴や良さを知ることができました。 ・地域の方々が先生となり、地域ならではの学習を推進しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○歴史副読本「さとみ物語」の学習により、館山という地域を再発見することができました。 ○社会科・生活科・総合的な学習の時間では、地域への理解や良さを学ぶ機会になりました。 ○市役所や市立博物館の見学、出前講座の活用は、館山市という「まち」の成り立ちや特長を知るきっかけとなりました。 ○地域の地場産業の学習や地域の特長を知るための、地域の方々を先生とする学習の取組は、児童生徒にとって興味関心を高める良い機会になっています。 ◆地域人材の活用は、講師をしてくださる方の高齢化があり、新たな人材を探す必要があります。

第7節 教育環境・就学環境の整備

取り組み方向	・生活保護受給世帯等に対し、就学費を援助します。 ・遠距離通学者の負担軽減を図ります。 ・優秀な人材育成のため、就学資金を援助します。 ・教育環境の是正を図るため、「館山市学校再編基本指針」に基づき協議を進めていきます。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
就学費援助事業 【教育総務課】	生活保護受給世帯等で、経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費等学校生活に必要な経費を援助することにより、教育の機会均等化を図り、義務教育を受ける権利を保障します。 ■就学費援助(学用品費・新入学学用品費・通学用品費・修学旅行費・校外活動費・給食費・体育実技用具費)

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護及び準要保護児童生徒に対し就学援助費（学用品費，校外活動費，医療費，学校給食費等）を支給しました。 平成 28 年度実績 3 月末現在認定者数 <ul style="list-style-type: none"> 【要保護】(小)20 名，(中)12 名 【準要保護】(小)145 名，(中)117 名 3 月末現在支給済額 (小)10,333,575 円 (中)13,335,302 円
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な理由で就学が困難な小中学校の児童生徒の保護者の負担が減り，教育の機会均等が保てました。 ◆要保護・準要保護の認定率が，増加傾向にあります（H25.4 月：8.08% ⇒H29.3 月：9.08%）。

スクールバス運行事業 【教育総務課】	<ul style="list-style-type: none"> 学校統合により遠距離通学となる児童生徒の安全な通学手段の確保と保護者負担の軽減を図るため，スクールバスを運行します。 ■スクールバス運行委託事業
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統合により，遠距離通学となった地区のうち，路線バスのない地区や不便な地区（三中九重地区・二中神余地区・豊房小畑地区）にスクールバスを運行し，通学手段の確保を図りました。 ・学校統合により，遠距離通学となった児童生徒に定期代等の補助を行い，保護者の負担軽減を図りました。 ・平成 29 年 4 月からの「館山市スクールバス」運行に備えて，中型バス 2 台・マイクロバス 1 台を購入しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<ul style="list-style-type: none"> ○遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られました。 ○スクールバス運行により，通学する児童生徒の安全な通学手段を確保することができました。 ◆館山市の遠距離通学支援は，小中学校統合の歴史のなかで，その都度見直しが行われ，対象者が，学校統合により遠距離通学となる児童生徒に限られていたため，全面的な見直しを行い，平成 29 年 4 月から市内一律の基準としました。

遠距離通学費補助事業 【教育総務課】	<ul style="list-style-type: none"> 学校統合により遠距離通学となる児童生徒を対象に，通学費の経済的負担を軽減するため，補助を行います。 ■遠距離通学費補助金支給
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統合により遠距離通学となった児童・生徒の通学費を補助しました。 〔小学校〕 1 西岬小学校 <ul style="list-style-type: none"> ①補助対象：2～4km 補助額：年額 5 千円 補助人数：7 人 ②補助対象：4km 以上 補助額：通学定期運賃の 1/2（11 カ月分：8 月除く） 補助人数：20 人 2 神戸小学校（富崎地区児童） 補助対象：2～4 km 補助額：年額 5 千円 補助人数：16 人 〔中学校〕 1 第二中学校 <ul style="list-style-type: none"> ①補助対象：4～6km

	<p>補助額 : 年額 10 千円 補助人数 : 20 人</p> <p>②補助対象 : 6km 以上</p> <p>補助額 : 通学定期運賃から 3,500 円を差引いた額 (12 カ月分)</p> <p>補助人数 : 35 人</p> <p>2 第三中学校</p> <p>補助対象 : 4~6km</p> <p>補助額 : 年額 10 千円 補助人数 : 24 人</p>
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○学校統合により、遠距離通学となった児童生徒の保護者負担が軽減されました。</p> <p>◆館山市の遠距離通学支援は、小中学校統合の歴史のなかで、その都度見直しが行われ、対象者が、学校統合により遠距離通学となる児童生徒に限られていたため、全面的な見直しを行い、平成 29 年 4 月から市内一律の基準としました。</p>

ふるさと創生奨学 資金貸付事業 【教育総務課】	<p>経済的理由により、高等学校・大学などに就学することが困難な者に対し、就学の機会を失することなく、地域の将来を担う有為な人材を育成するため、奨学資金を貸し付けます。</p> <p>■ふるさと創生奨学資金貸付事業</p>
実施状況	<p>・経済的な理由により、高等学校や大学に進学することが困難な者に対して奨学資金を貸し付けることにより、就学の機会を支援し、人材の育成に寄与しました。</p> <p>平成 28 年度</p> <p>3 月末現在貸付者 27 名</p> <p>3 月末現在返還者 63 名</p>
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>◆昨今の厳しい経済状況の中で、学生への経済的な支援が重要となっている一方で、返還金の回収強化が課題となっています。</p>

学校規模における 教育環境の是正 【学校教育課】	<p>今後も減少傾向が続くと予想される小学校の児童数を踏まえ、「館山市学校再編基本指針」に基づき、学校の主役である子どもたちの適切な学校環境の構築を推進していきます。</p> <p>■複式学級編成校の解消並びに小中一貫校実現についての検討</p>
実施状況	<p>・房南地区小中一貫校開校に向けての協議を継続しました。(房南地区小中一貫校検討委員会の開催)</p>
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○平成 29 年 4 月の開校に向け、最終段階の協議を行いました。</p>

第 8 節 学校(園)・給食センターの施設整備

取り組み方向	<p>・教育施設の耐震性の確保に努めるとともに、安全で快適な学習環境の整備に努めます。</p> <p>・老朽化、あるいは不足している学校用備品等の計画的な整備に努めます。</p> <p>・教育施設を社会体育活動や地域活動の場として利活用します。</p>
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
学校(園)施設の 整備 【建築施設課・教育総務課】	<p>小・中学校・幼稚園の施設の安全性を確保するため、耐震改修・老朽化施設改修などを行い、安全で安心な学校施設の整備と学習環境の向上に努めます。</p> <p>■耐震診断事業 北条幼稚園, 豊房幼稚園</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ■耐震改修事業 校舎：北条小学校，館山小学校，館野小学校・幼稚園，西岬小学校 体育館：館山小学校，九重小学校，豊房小学校 ■小中一貫事業 房南学区
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ■耐震診断事業 全学校（園）で実施済み ■耐震改修事業（工事及び工事監理） 校舎：館山小学校西棟，九重小学校，九重こども園 体育館：神戸小学校，九重小学校 ■小中一貫事業 房南地区（工事及び工事監理） ■幼稚園建設事業 北条幼稚園（工事及び工事監理）
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○房南中学校の体育館（建替え）及び神戸小学校校舎（未使用）の耐震化を図りました。</p> <p>○北条幼稚園の耐震化（建替え）及び老朽化対策を図りました。</p> <p>◆第三中学校の耐震化の方針を早急に決めていく必要があります。</p>

学校用備品の整備 【教育総務課】	<p>老朽化した学校用備品の更新，必要な教材の購入を行い，快適な学習環境と教育効果の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■基準耐久年数を超えた備品の廃棄・買い替え ■学校間での備品の共有化・貸し出し ■防災カーテンの整備 ■消火器の詰め替え，買い替え ■学校図書の整備
実施状況	<p>・老朽化した学校用備品の更新や必要な教材の購入を行い，学習環境の整備を図りました。</p>
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○平成28年度は，概ね各校の要望どおりの備品を整備することができました。</p> <p>◆厳しい財政状況の中，計画的な整備が困難となっています。</p>

学校給食センターの整備・運営 【学校給食センター】	<p>安全かつ適正な給食を提供するとともに，学校給食における地産地消を推進するため，新たな給食センターの建設に向けた取組を推進します。また，老朽化している現有施設について，適切な施設保全に努めます。さらに，委託業者と連携し，提供する給食の質の向上に努めつつ運営の合理化を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設整備計画の策定 ■新給食センターの建設 ■現有施設・備品の適正な保全 ■地域食材の活用
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新学校給食センター建設に向け，実施設計業務において建築基準法の特例を受けるための許可及び建築確認を得ました。 ・地産地消については，館山市で収穫された農産物を学校給食において提供しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○学校給食衛生管理基準及び大量調理施設衛生管理マニュアルに適合しない現施設を改築するための用地が確定するとともに，建築の許可を得ることができました。</p> <p>◆事業実施年度が延伸したことから，新センター稼働時の食数規模及び調理機能の見直しにより，事業規模を縮小する必要があるため，設計内容を見直す必要があります。</p>

Ⅱ スポーツ・レクリエーション活動の推進

第1節 生涯スポーツの推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の開催，伝統あるスポーツイベントの継続やマリンスポーツなどの館山の自然を活用したスポーツの普及に努めます。 ・市民スポーツ・レクリエーション月間の事業を充実し，生涯スポーツを推進します。 ・総合型地域スポーツクラブの運営を支援します。 ・小・中学校の体育施設を開放し，地域のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として有効活用します。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
スポーツ教室実施事業 【スポーツ課】	バレーボールや水泳などで，世界レベルの活躍をした一流選手を講師に招く，「一流選手に学ぼうスポーツ教室」を開催し，競技レベルの向上や競技人口の拡大を図ります。
実施状況	館山ふるさと大使（オリンピックメダリスト）を講師に招き，主に小学生を対象に，以下のスポーツ教室を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・一流選手に学ぼう水泳教室（7/9）対象者：小学生，大人 ・一流選手に学ぼうバレーボール教室（11/20）対象者：小学生
成果と課題 【○成果◆課題】	○市民の健康増進，体力及び競技力の向上が図られました。 ◆限られた時間の中で，いかに対象者の層を拡大していくかが課題です。

第2節 スポーツ交流の推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・既存スポーツイベントの充実を図るとともに，国際的・全国的なスポーツイベントの誘致・開催やマリンスポーツ及びビーチを利用したスポーツの普及・情報発信に努めます。 ・プロスポーツチームのキャンプを積極的に誘致し，観戦の楽しみを通じたスポーツ人口の拡大を図るとともに，観光関連産業との連携による交流人口の拡大を図ります。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
館山若潮マラソン大会運営委託事業 【スポーツ課】	南房総の一大イベントとして定着した本大会を手作り市民マラソン大会の基本的なスタイルを維持しながら，さらに大会の知名度アップや内容の充実に努めます。
実施状況	・平成28年度（37回大会）では，申込者数11,817人，参加者数10,457人で，申込者数及び参加者数が3年連続1万人を超える大会となり，南房総地域の一大スポーツイベントとして定着している。
成果と課題 【○成果◆課題】	○参加者の約1割を市民が占め，市民の健康体力保持増進に大きく寄与しており，本市における生涯スポーツの柱の1つである他，市外参加者や家族・友人等の宿泊等による経済波及効果や市のPR効果も大きく，観光振興にも不可欠なものとなっています。 ◆参加者の増加に伴い，選手の安全面の確保や交通渋滞への対応，また，スポーツボランティアの育成・拡充が必要です。

第3節 スポーツ団体・指導者の育成

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体への支援を継続します。 ・スポーツ指導者の資質向上を図るため、研修会への参加を支援します。 ・小・中学校の体育振興を図ります。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
小・中学校体育振興委託事業 【学校教育課】	<p>各種目の大会・講習会の開催や、県中学校総合体育大会や新人大会への選手の派遣など、館山市小中学校体育振興会に体育振興強化関連の事業を委託し、児童生徒の体力・技術力の向上と青少年の健全育成に努めます。</p> <p>■小・中学校体育振興委託</p>
実施状況	<p>館山市小中学校体育振興会に委託することにより、児童生徒の体育振興を目的として、主に以下の事業を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小学校体操教室 ② 小学校陸上競技大会 ③ 千葉県中学校総合体育大会参加 ④ 千葉県中学校新人体育大会参加
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>○小中学生の体力、競技力の向上</p> <p>◆少子化に伴い、学校活動において団体競技を実施することが難しくなっている現状があります。</p> <p>(部活動の維持、体育教科での団体競技の実施等)</p>

第4節 スポーツ施設の整備

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・市民運動場の野球場やテニスコートなどの修繕を計画的に実施し、利用者の利便性の向上に努めます。 ・温水プールや 50mプールの修繕や維持管理を適正に行い、施設の延命化に努めます。 ・市民体育館の耐震補強工事を実施し、利用者の安全性の確保を図ります。 ・出野尾多目的広場は、冬芝の育成を継続するとともに、利用者の利便性の向上に努めます。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
スポーツ施設の整備 【スポーツ課】	<p>市民運動場やプール、体育館など、既存のスポーツ施設の適正な維持管理に努め、利用者の利便性、安全性の確保を図ります。</p> <p>■市民運動場テニスコート防球ネット改修事業</p> <p>■市民体育館耐震補強事業 など</p>
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、整備のため、市民運動場更衣室等空調機設置工事、温水プールボイラー水位調節器交換工事、市民運動場相撲場上屋撤去工事を実施しました。 ・受益者負担の原則から、「使用料・手数料設定に関する基本方針」に基づき、施設使用料を改定し、平成 29 年度から施行することとしました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>○施設の改修等、維持管理を行い、利用者が安全安心に利用できる環境づくりに努めました。</p> <p>○改正した使用料により受益者負担の適正化に努めました。</p> <p>◆施設の老朽化や耐震補強など、今後大規模改修が必要な施設があり、施設の存続・あり方等を検討していく必要があります。</p>

Ⅲ 生涯学習の推進

第1節 生涯学習推進体制の整備充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や市民と連携し、さまざまな媒体を活用した生涯学習情報の提供や講座の開催に努めます。 ・地域人材の活用による各種ボランティア制度の拡充に努めます。 ・地域で子どもを育てる力を向上させるため、社会教育団体の育成や自主的な活動を支援し、社会教育団体を核とした地域教育力の向上を目指します。 ・市民の自主的なサークル活動を積極的に支援します。 ・時代や利用者の多様なニーズに対応した蔵書構成やサービスを提供するため、図書館の一層の整備充実を図ります。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
生涯学習ボランティア制度の充実 【生涯学習課・博物館】	<p>地域人材の活用による学校支援（マイスクール）ボランティアや生涯学習ボランティア、ミュージアムサポーター制度、出前講座を拡充し、学社融合や博物館事業の充実を図るとともに、自主的な活動による市民の自己表現の場と生涯学習活動の場の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■マイスクールボランティア事業の推進 ■出前講座の拡充 ■展示案内・資料調査・資料整理などミュージアムサポーターの活動内容の拡充 ■市民ギャラリーの開設
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の豊富な知識や経験等を活用し、学校支援事業や出前講座事業を実施しました。 ・学校支援活動においては学習支援、環境美化が図られました。 ・本事業を通じて市民の学びの還元を図る機会を提供することができました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○教室・講座は、地域の歴史や文化を広く紹介し情報を発信する機会として、また、生涯学習の学びの場として、博物館の普及事業に欠かせない要素となっています。</p> <p>○絵図士の実施のフィールドワークによって作成された「歴史散策マップ」は、情報精度が高く、市ホームページ内の「たてやまフィールドミュージアム」で紹介し、地域の歴史情報として貴重な資料となっています。</p> <p>◆協力者（市民）と受益者（学校等）を繋ぐためのコーディネートを行う仕組みづくりの構築が課題です。</p>

サークル活動の支援 【図書館・中央公民館】	<p>サークル活動への新たな参加者を増やすための事業の展開や、有益な情報の提供、活動や発表の場の提供に努め、自主的な活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■図書館ボランティアの育成及び支援 ■サークルフェスティバルの開催 ■公民館サークル連携「わくわくサークル教室」の開催
実施状況	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館サークル連絡会の活動支援や協働事業の実施、サークルフェスティバルの開催。

	<p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会・わらべうたの会ボランティアと協働して事業を行いました。 ・図書修理ボランティアと協力し、資料の劣化や破損に対応しました。
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【中央公民館】</p> <p>○毎年実施しているサークルフェスティバルには多くのサークルが参加し、それぞれのサークルの活動状況を説明し合うことで、サークル間や個人間の交流や親睦が促進され、サークル活動の活性化に繋げることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆サークル参加者の高齢化が進んでおり、勤労世代へのサークル活動の周知が必要と考えます。 ◆サークル連絡会の活性化と役員体制の安定化が求められています。 <p>【図書館】</p> <p>○ボランティアと協力し、事業の実施や資料の整備を進めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ボランティア団体の人員減少も見られるので、新たな参加者を増やすための支援が必要です。

<p>図書館体制の整備 充実 【図書館】</p>	<p>多様化・高度化する利用者のニーズに応じた資料を収集し、蔵書構成の充実を図るとともに、課題を解決するための調査研究支援(レファレンス)、積極的な情報提供に努めます。さらに、開館時間の検討や住民ニーズの調査分析を行い、図書館サービスの向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■図書館資料の収集及び提供 ■情報サービスの充実 ■移動図書館車の運行
<p>実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の購入・寄贈受入を行い、資料を基に利用者に貸出や調査相談等を行いました。 ・図書館システムを用い、確実な資料管理に努めました。 ・保育園・こども園、小学校、高齢者施設などを中心に、市内31カ所を5コースに分け、移動図書館の運行を行いました。
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○資料費の減に伴う購入点数の減少に伴い、貸出利用はやや減っていますが、館内での資料利用や調査相談など、資料貸出以外の利用にも活用されています。</p> <p>○移動図書館は、学校等で活発な利用がされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆分類法の改訂や図書目録データの仕様変更に伴い、数年後には現行の図書館システムでは対応が困難になります。 ◆施設の老朽化等で、収蔵能力が限界を迎えています。

第2節 生涯学習機会の充実

<p>取り組み方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな地域資源を活用し、有益な資料・情報や多彩な学習機会を提供することで、市民の自主的な学習活動を支援します。 ・学習成果が社会参加活動のきっかけとなるよう、現代的課題を取り入れた講座を企画します。 ・「環境」・「観光」・「まちづくり」など市が取り組む行政課題、各種施策について、市民に広く理解を図る役割となる講座を開催します。 ・市民の自己実現の確立、地域活動への参画、また、地域コミュニティの醸成を図るため、幅広い年齢層に対応した、誰もが参加しやすい生涯学習講座の開催を推進します。 ・館山の歴史・文化の情報発信拠点として、博物館の学習、施設機能の充
---------------	--

	<p>実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧県立安房博物館（現博物館分館）の移譲を受け、観光的な視点からの事業展開や来訪者などの交流人口の拡大に努めます。 ・博物館の豊富な資料の有効活用を図り、内外に向けた情報発信機能を強化します。 ・「ふるさと」を基本テーマに、歴史・文化、生活など柔軟な視点から地域をとらえた、魅力ある各種講座を開催し、地域への愛着心の醸成やまちづくり活動に参画する人材の発掘も目指します。 ・博物館、図書館及び公民館の連携を図り、総合的なふるさと学習を推進します。 ・市民の優品鑑賞の機会を提供するため、文化庁・千葉県などと連携し、展覧会・講演会・講座等の充実に取り組みます。
--	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
展覧会・講演会・ 講座等の開催 【博物館】	<p>優れた歴史・文化遺産の展示・公開や、講演会・講座等教育普及事業の拡充を図ることにより、郷土を知る手掛かりを提供し、市民の歴史への興味関心に応えるとともに、観光拠点としての城山公園・渚の駅にある博物館の特色を活かした事業展開や観光客誘致にも取り組みます。（入館目標者数：70,000人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■博物館3館のテーマを活かした常設展示・講座の開催 ■館山・安房をテーマにした特別展・講座の開催 ■市内の旧町村を紹介する地区展の開催 ■文化施設をつなぐ動線の開発
実 施 状 況	<p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展示 <ul style="list-style-type: none"> 本館：館山の歴史と民俗 分館（渚の博物館）：房総半島の海と生活 八犬伝博物館（館山城）：八犬伝の世界 <p><主な展示事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」（5/28～7/10，入館者：5,660人） ・新収蔵資料展「鈴木日出児という画家」（7/16～9/4，入館者：9,247人） ・新地区展「神戸-神々と共に生きる里-」（10/8～11/27，入館者：8,138人） ・収蔵資料展「装いの用と美」（2/4～3/20，入館者：8,965人） <p><主な普及事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史体験教室「甲冑を着よう」（毎週日曜・祝日，参加者：756人） ・歴史教室「古文書を読んでみよう」（全10回3クラス，受講者：125人） ・歴史教室「活弁八犬伝」（全2回，参加者：35人） ・歴史教室「わたしの町の歴史探訪－洲宮・茂名－」（11/6，参加者：49人） ・展示解説会（全6回、，参加者：98人） ・安房学講座〔共催事業〕（全8回，参加者：511人）
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>【博物館】</p> <p>○優れた歴史・文化遺産を展示、公開することによって、郷土を知る手がかりを提供し、市民の歴史への興味や関心に応え、情報発信しました。</p> <p>◆市内に埋もれている歴史資料を掘り起こし、活用することが必要です。</p>

第3節 青少年の生きる力を育む体験活動の充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域青少年育成活動を支援するとともに、学校・家庭・地域・関係団体との連携を図り、青少年指導者の育成に努めます。 ・青少年活動の充実を図るため、子どもたちの「生きる力」の醸成やふるさと学習を推進します。 ・児童の健康増進に寄与し、コミュニケーションを図る空間としての安全・安心な児童遊園の維持管理等に努めます。 ・市民も一体となって新成人を祝う機会となるよう、また、生まれ育った「ふるさと館山」の魅力を再認識し、将来の館山を担う人材の確保につながるように、成人式の内容を検討します。 ・小学校の施設を利用して、地域の方々の参画を得ながら、子どもたちが勉強やスポーツ・文化活動・遊びを体験する放課後子ども教室を実施し、豊かな体験の場作りを推進します。 ・子どもたちが自分たちの住んでいる「ふるさと館山」の自然や歴史・文化を通じて、郷土を愛する心を育むための体験活動を推進します。 ・家庭教育力の向上や、育児不安・子育ての孤立感の軽減を図るため、家庭教育事業を推進します。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
青少年健全育成体制の充実 【生涯学習課】	<p>次代を担う青少年の健全育成のため、青少年健全育成団体及び学校、家庭、地域との連携を図り、その活動を支援します。また、青少年相談員の各種活動を通じ、地区の大人とのふれあいや地域間交流の場の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■青少年相談員連絡協議会への支援 ■青少年球技大会・親子写生大会の開催
実施状況	青少年の健全育成のため、子ども会育成会連絡協議会事業や青少年相談員連絡協議会等への補助を行いました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○各種事業に補助をすることにより、市内児童等に対し様々な体験学習機会が提供できました。</p> <p>◆少子化や児童・生徒のライフスタイルの変化による参加者の減少や、地域コミュニティの変化による子ども及び子ども会加入者の減少。</p>

放課後子ども教室の推進 【生涯学習課・中央公民館】	<p>子どもたちが放課後や週末に地域の人や異学年とのかかわりの中で、社会性や規範意識などを身に付け、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、勉強やスポーツ・文化活動・遊びを体験する放課後子ども教室を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市内全小学校での教室開催 ■夏休み子ども教室、囲碁・将棋大会の開催
実施状況	放課後子ども総合プランに基づき、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を使用し、市内全小学校（10校）で放課後子ども教室を実施しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○児童が放課後や週末に地域住民や異学年の児童と交流することで豊かで健やかに育まれる環境作りが図れました。</p> <p>◆学力向上を視野に入れた学校教育との連携及び学童クラブとの連携。</p>

ふるさと体験活動の推進 【生涯学習課・中央公民館】	子どもたちが、自分たちの住んでいる「ふるさと館山」の自然・歴史・文化などの体験活動を通して学び、郷土を愛する心を育めるよう、教育機関・NPOや市民ボランティアと連携して「たてやまワクワク探検隊」を開催するなど、魅力ある地域資源を活用した事業の展開に努めます。
------------------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ■「たてやまいいところ体験教室」の開催 ■昭和女子大と連携し、夏休みの学習「ワクワク・ウキウキ教室」を開催 ■子ども市民大学の充実 ■親子自然体験講座「たてやまワクワク探検隊」の開催 ■沖ノ島探検隊の開催
実施状況	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子や青少年を対象に「たてやまワクワク探検隊」では、ホテル観察の実施、「沖ノ島探検隊」では、島内探検やスノーケリングを実施しました。 ・平成28年度より、公共交通機関である路線バスを利用し、目的地を目指しながら、その途中で「ふるさと館山」の自然や文化に触れ合う機会を提供しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験活動を通じて、館山の自然の豊かさ、良さを認識してもらうことができました。 ○青少年が自ら考えて行動することを学ぶことができました。 ◆参加対象者が成長し、対象世代は変わっていますが、体験メニューがマンネリ化しています。 ◆事業内容が自然体験教室に偏っています。

家庭教育事業の推進 【中央公民館】	<p>家庭教育力の向上を図るため、子育て知識の習得、仲間づくり、情報交換及び地域の中での子育てなどを考える場の提供をします。「家庭教育学級」の開設、「子育て支援講座ハッピーファミリー」の開催など家庭、学校、地域、関係機関と連携し、社会全体で子育てを支援する事業を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■家庭教育学級（幼稚園・小学校単位）の開催 ■子育て支援講座「ハッピーファミリー」の開催 ■親子自然体験講座「たてやまワクワク探検隊」の開催（再掲） ■親子クッキング教室の開催
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級の開設支援や子育て支援講座「ハッピーファミリー」を実施しました。 ・家庭教育や子育てに対する相談窓口の運営を行いました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育学級などの事業を通じて、家庭教育力の向上や保護者同士の交流や情報交換の場を提供することができました。 ◆家庭や青少年、児童を取り巻く問題が複雑化、深刻化していることへの対応の困難性。

第4節 ふるさと情報の収集と提供

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと百科たてやま大事典」の充実、情報の更新を図ります。 ・ふるさと情報の収集・提供機能強化のため、博物館・図書館の郷土資料を充実します。 ・集積した情報を有効に活用・発信し、文化活動をはじめ観光立市の推進、まちづくり施策に活かします。 ・歴史・文化などの地域資源情報を洗い出し、整理・活用・発信することで、改めて市民一人ひとりが地域の魅力を再認識し、「ふるさと館山」に対する誇りや愛着心が育成されるよう努めます。 ・博物館・図書館での積極的な郷土資料の収集・保存・提供により、次代の市民に地域の歴史、文化の継承を図り、全国に向けて「ふるさと館山」の魅力をアピールします。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
郷土資料の収集と提供 【博物館・図書館】	<p>市民への学習機会の提供に併せ、広く全国に向けて郷土たてやまの歴史・文化などの地域資源や魅力をPRするという観光的な視点からも、博物館や図書館の郷土資料の収集や提供機能を充実させます。</p> <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山の歴史・生活文化等に関する調査・研究事業の充実 ・博物館資料のデータベース化と収蔵資料目録の整備・ホームページでの公開 (収蔵資料目録の目標公開点数：約 40,000 点 収蔵資料目標点数：約 70,000 点) <p>■古文書・民俗芸能の調査研究 ■収蔵資料目録の作成</p> <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土に関する資料について、活字資料のほか、映像資料や音声資料・電子媒体資料など多様な資料を系統的に収集し、提供します。(郷土資料の所蔵目標点数：6,500 点 年間目標貸出点数：310 点) ・地域の機関や団体が発行しているチラシやパンフレットなどの資料を収集し、提供します。 ・図書館専門職等による郷土資料に関する調査研究支援（レファレンス）を実施します。 <p>■郷土資料の収集 ■レファレンスの実施</p>
実施状況	<p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28 年度資料収集点数 1,220 点 ・収蔵資料点数 約 80,000 点 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料所蔵点数 (H28 年度末現在) 6,990 点 ・H28 年度郷土資料貸出点数 370 点
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>【博物館】</p> <p>○実物資料は所有者の関心の低下や建物の取り壊しなどで消滅していく傾向があるため、保護すべき資料の収集により、提供すべきふるさと情報の根幹資料を確保しました。</p> <p>◆実物資料の収集には収蔵スペースが有限であるという制限があるため、スペースの拡大が必要です。</p> <p>【図書館】</p> <p>○一般流通していない郷土資料についても、寄贈等により収集・整理し提供しました。</p> <p>◆地域資料のレファレンスについては、資料の整備だけでなく、職員も地域の歴史や実情、地域資料について知り、より理解を深めていく必要があります。</p>

第5節 生涯学習関連施設の整備

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習拠点としての機能を向上させるとともに、利用者に安全で快適な利用環境を提供するため、社会教育施設の整備に努めます。 ・展覧会を中心とする博物館事業の拡充を促進するため、その基盤となる博物館資料の整備充実を図り、来館者増に努めます。 ・図書館電子システムの充実を図り、図書館と近隣の社会教育施設との一体的な活用により、市民サービス及び利便性の向上に努めます。 ・利用者視点や地域づくり視点に立った地区公民館の再編・再配置を検討し、博物館の機能統合を行います。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
博物館機能の強化 【博物館】	<p>館山市の歴史・文化や房総半島の漁業に関連する資料の購入・制作等により、常設展示や企画展示の充実を努め、郷土研究の進展を図ります。また、本館・館山城・分館(渚の駅の博物館)の一体化した運営を行うため、3館の機能を統合した効率的な運用と事業展開を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■博物館本館・館山城・分館の機能統合による効率的な運営 ■博物館資料の購入 ■地域資料の寄付受入れ
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資料購入 11件 635千円 ・資料寄附受入 30件 ・主な改修等 本館し尿浄化槽設備改修（老朽化によるポンプ等交換他：1,088千円） 本館外塀補修工事（老朽化によるモルタル剥離補修：323千円）
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新，施設設備の延命化と適正な機能保全に努めました。 ◆施設，設備の老朽化に伴い，今後も，設利用者に対し快適な空間，環境を提供するための延命措置が必要です。

Ⅳ 豊かな文化の振興と歴史の継承

第1節 優れた芸術・文化に親しむ機会の提供

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた芸術・文化に親しむ機会の提供 ・小・中・高校生など、より多くの幅広い市民層に優れた芸術文化に触れる機会・参加する機会を提供するための創意工夫 ・芸術・文化活動を通じた市民同士のコミュニケーションの向上や地域の個性を育む機運の醸成
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
文化活動への支援 【生涯学習課】	<p>「館山市文化祭」・「館山市芸術フェスティバル」などの各種芸術文化活動の発表する場を提供するとともに、芸術・文化の鑑賞や参加する機会への要望にこたえていくために、各文化団体の自主的な活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■館山市文化祭の開催支援 ■館山市芸術フェスティバルの開催支援
実施状況	館山市芸術文化協会が実施する文化祭事業に対する助成（補助）、文化祭開催時の情報発信などの支援を行いました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>○文化祭などの開催を通じ、市民が優れた芸術、文化に親しむ機会を提供することができました。</p> <p>◆各文化団体構成員の高齢化、メンバーの減少などによる活動の低迷が懸念されることから、助成だけでなく幅広い支援が必要です。</p>

第2節 新しい文化の創造

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国大学フラメンコフェスティバル」を継続し、館山市の気候や風土、街並みと調和した魅力あるイベントの展開に努めます。 ・文化団体やサークルとの連携による地域間交流や世代間の交流の可能性を検討します。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
全国大学フラメンコフェスティバルの開催 【生涯学習課】	<p>「若さと活気に溢れた館山市」、「フラメンコのまち館山」といったイメージを全国に発信し、フラメンコをきっかけとした交流人口の拡大を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国大学フラメンコフェスティバルの開催 ■花火とフラメンコの開催 ■フラメンコ事業にかかる情報発信の強化
実施状況	全国の大学生、市民団体、商工会議所、行政が連携し、全国的にも類を見ないフラメンコ事業「全国大学フラメンコフェスティバル」を開催しました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>○館山市の夏のイメージイベントとして定着し、市外からの来訪者も多く、経済効果も期待できる事業となっています。また、本事業に参加した大学生にとっては、館山市を第2のふるさとという認識をもっている学生も多く、子どもを連れて再訪するなど交流人口の拡大にも寄与しています。</p> <p>◆少子化により大学のフラメンコサークル数が減少していることから、イベント内容、現在の実施規模を維持しながら、OG、OBの参加、他自治体で実施しているフラメンコ事業との連携など質を高める工夫が必要です。</p>

第3節 個性と伝統ある歴史・文化の継承と発信

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の種類や特性に応じた保存・整備事業を計画的に促進します。 ・文化活動をはじめ、観光振興、まちづくりのベースとなる地域資源である文化財の適切な保全活動を推進します。 ・「里見氏の歴史」、「青木繁《海の幸》」を軸とした、歴史・文化交流を推進します。 ・館山市の歴史的特性を象徴する史跡等の国指定を目指し、調査研究を進めます。 ・国指定史跡「里見氏城跡 稲村城跡」について整備を進めるとともに、歴史文化的な観光スポットとするため、情報発信に積極的に取り組みます。 ・館山市指定史跡「館山海軍航空隊赤山地下壕跡」、館山市立博物館本館及び館山城、館山市立博物館分館や海辺の広場を包含する「“渚の駅”たてやま」を拠点に、周遊しやすい仕組みづくりを推進します。 ・民俗芸能の後継者養成・確保のための諸条件の整備や、中断している民俗芸能の復活・再生支援のための方策を検討していきます。 ・地域の生活や産業と密接に関連し、伝承されてきた芸能などの無形民俗文化財を、後世に継承していきます。 ・歴史・文化活動を実践している市民団体の活動を積極的に支援します。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
文化財の保存・整備 【生涯学習課・博物館】	<p>館山市の歴史や文化を正しく理解し、情報発信していく上でかけがえのない財産である文化財を保護・保存・活用することで、館山市の歴史的特性を理解し、正しく後世に伝えるとともに、文化財の種類や特性に応じた保存・整備事業を計画的に推進し、安全な環境で一般公開できる指定文化財を増加させるよう整備します。また、文化財を活用した街づくり、観光振興に努めます。</p> <p>■館山市の文化遺産を活用した観光振興・地域活性化事業の支援</p> <p>■「戦国大名里見氏」「南総里見八犬伝」「房総半島の海と生活」をはじめとする歴史・文化資源の情報発信</p> <p>■歴史的建造物の国文化財登録事業</p>
実施状況	<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の文化財を紹介する「館山市の文化財」パンフレットを作成しました。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新・地区展、特別展等の開催及び展示図録の発行により、地域の歴史や文化財などを広く紹介しました。 ・旧県立安房博物館時代から引き継いでいる「安房学講座」（共催事業）の開催により、安房地方の歴史と民俗をテーマとした情報を提供しました。 ・ミュージアムサポーター絵図士の活動の成果である「文化財マップ」によって、地域に点在する文化財等の情報を館山市ホームページ内のたてやまフィールドミュージアムで紹介しました。
実施状況	<p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新・地区展、特別展等の開催及び展示図録の発行により、地域の歴史や文化財などを広く紹介しました。 ・旧県立安房博物館時代から引き継いでいる「安房学講座」（共催事業）

	<p>の開催により、安房地方の歴史と民俗をテーマとした情報を提供しました。</p> <p>・ミュージアムサポーター絵図士の活動の成果である「文化財マップ」によって、地域に点在する文化財等の情報を館山市ホームページ内のたてやまフィールドミュージアムで紹介しました。</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>○文化財の適切な保存、管理を支援することで市民の歴史、文化への意識の掘り起こしや来訪者の増加にも繋がっています。</p> <p>◆文化財の指定件数が増加していくため、適切な保存、管理を所有者（管理者）に行ってもらう必要があります。</p> <p>【博物館】</p> <p>○地域の歴史、文化に関して、幅広い分野の情報を一般の方々に紹介することができました。また、貴重な情報を図録等に集約することができました。</p> <p>◆図録等の印刷物については、その内容をより市民にアピールし、理解していただくため、これを積極的に活用する場を設けることが必要です。</p>

<p>民俗芸能伝承者の育成 【生涯学習課】</p>	<p>芸能などの無形民俗文化財を後世に継承するため、市民の理解と認識を深めるとともに、伝承者の育成、確保を通じて、伝統文化の振興とそれを活用した地域の活性化に努めます。</p> <p>また、特に民俗芸能継承の諸条件の整備や地域の民俗芸能の相互交流を促進し、後継者の確保による館山市の民俗芸能の保護・活性化を強化します。</p> <p>■民俗芸能保持団体の支援</p>
<p>実施状況</p>	<p>■地域の歴史と深く関わる伝統工芸技術・伝統芸能・民俗芸能等を保存、継承する団体に対し、「館山のふるさと伝統文化支援補助金」を交付し支援を行いました。</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○補助金交付により、それぞれの団体、地域において、活動の活性化につながるきっかけとなっています。</p> <p>◆伝承者の減少、高齢化、さらに活動資金の不足等により、民俗芸能保持団体の存続が危ぶまれることから、支援方法を含め、継続的な検討、各団体との情報交換、さらに映像制作等による資料の整備を図ることが必要です。</p>

V 教育行政の充実

第1節 開かれた教育行政の推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の透明性を高めるため、教育委員会議や活動内容を広報やインターネット等で積極的に公表します。 ・各学校（園）における特色づくりを支援するため、学校（園）予算の計画的・弾力的な執行に努めます。 ・校長がリーダーシップを発揮し、特色ある学校づくりを推進するため、校（園）長の意見具申を最大限に尊重しながら人事配置を行うなど、校（園）内の組織体制づくりを支援します。 ・各学校において特色ある教育活動を展開できるよう、教育内容や指導方法の工夫改善に関わる教職員の配置や指導に努めます。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
市民に開かれた教育行政の推進 【教育総務課】	広報やインターネット等を活用し、教育委員会会議や施策、学校教育、社会教育（文化、スポーツ等）の幅広い分野の活動を、積極的にわかりやすく情報提供します。 ■教育委員会議の議事録概要公開（ホームページ） ■教育委員会会議の公開
実施状況	・広報やインターネットなど各種広報媒体を活用し、教育委員会会議や学校教育、社会教育の活動状況の情報を積極的に提供しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○教育委員会会議の要旨を公開することにより、審議内容などを広く住民に周知することができました。

開かれた特色ある学校（園）づくりへの支援 【教育総務課・こども課】	各学校（園）における特色づくりを支援するため、学校（園）予算の計画的・弾力的な執行に努めます。 ■学校（園）予算の計画的・弾力的な配当
実施状況	【教育総務課】 ・学校運営の特色づくりを支援するため、年度当初に消耗品、燃料費等一定項目の予算を学校に一括配当しました。 【こども課】 ・園運営の特色づくりを支援するため、年度当初に消耗品等の一定項目の予算を園に一括配当しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	【教育総務課】 ○学校長の裁量による計画的・弾力的な予算執行をすることができました。 【こども課】 ○園長の裁量による計画的・弾力的な予算執行をすることができました。

第2節 主体的な教育行政の展開

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育行政課題に対応するため、毎月の定例会や臨時会を開催します。 ・館山市教育基本計画に基づいた教育行政全般の点検・評価を実施し適切な振興管理を進めていきます。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
教育委員会運営の 充実 【教育総務課】	毎月一回の定例会、必要に応じて臨時会を開催し、様々な教育行政課題に迅速に対応します。 ■教育委員会会議の開催 ■教育委員による社会教育施設や学校（園）の訪問
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育行政課題に対応するため、毎月の定例会や臨時会を開催し、審議しました。 定例会 12回 議案 52件 ・教育委員による小中学校や幼稚園への訪問を実施し、各学校で抱える教育課題など意見交換を行いました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○教育現場等の実態を把握することにより、よりよい教育行政の推進に向け、活動することができました。 ◆教育委員の施設訪問の回数・時間など、更に検討していく必要があります。

事務局の教育行政 能力の強化 【教育総務課】	教育委員会の企画・指導・助言機能を充実させ、地域住民の多様な要望にこたえるきめ細かな教育行政を展開するため、指導主事、学芸員、司書など専門職員を配置し、事務局の教育行政能力の強化に努めます。 ■専門職員の配置等の促進
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局に、主任管理主事1名、主任指導主事1名、指導主事2名を配置しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○学校教育の指導助言を行い、教育力向上のための授業指導や学校からの様々な相談・課題に対応することができました。